

炭酸ガス施用下での施設ニラ栽培における 吸水量と生育および全天日射量との関係

安岡由紀*・糸川修司

Relationship between water absorption volume of Chinese chive in Glasshouse and
its growth and Solar Radiation under carbon dioxide application

Yuki YASUOKA, Shuuji ITOKAWA

要 約

炭酸ガス施用下での促成ニラ栽培における吸水量の推移を調査し、生育および全天日射量との関係を検討した。その結果、吸水量は、成長とともに増加し、かつ全天日射量に応じた増減をすることが明らかとなった。収穫後から次の収穫までの間では、生育期間の初め 1/3 の期間と、それ以降では吸水量に影響する要素が異なり、前者では、全天日射量より生育日数の影響が大きく、後者では、生育日数より全天日射量の影響が大きくなった。

晴天時日平均吸水量は、1 月収穫時で 168ml、2 月収穫時で 194ml、3 月収穫時で 294ml、4 月収穫時で 392ml であった。1 月収穫時と比較して 4 月収穫時では、生育量は 1.4 倍、全天日射量 2.0 倍、平均吸水量（晴天時）は 2.3 倍となり、冬から春に向う栽培の場合、栽培が経過するとともに吸水量は、生育量より全天日射量の影響が大きくなり、4 月では慣行灌水量では不足していることが明らかとなった。

キーワード：施設ニラ 吸水量 全天日射量 生育量